

条例検討委員会・自分ごと化会議合同会議 第6回議事メモ

分科会	第1分科会(環境保全)
コーディネーター	永由 裕大
ナビゲーター	なし
説明担当者(自治体)	なし
日時	2022年 5月 21日(土) 10時から 12時35分
場所	長岡京市役所 4階大会議室
その他	参加者数 <u>16名</u> 欠席者数 <u>16名</u>

趣旨・概要

- 条例骨子(案)をもとに議論

主な論点

論点① 条例骨子(案)について

論点② 提案書のご意見に関する実施事業等について(初稿)に関する説明

協議の流れ

(コ) 当日配布資料の確認、今後のスケジュールについて説明。

● 条例骨子案に関する説明。

(市) 長岡京市 共助と連携のまちづくり条例骨子(案)と提案書との関連性について説明。

(会長) 長岡京市 共助と連携のまちづくり条例骨子(案)について説明。

- ・ 「(仮称)自治振興条例」としてきたが、分かりやすく「共助と連携のまちづくり条例」とした。
- ・ この条例は市民等に義務を課す条例ではない。市長にも確認。自治会に入らないといけない、地域活動に参加しなければならないというものではない。自主性に任せるもの。
- ・ 基本的な考え方・理念を共有するためのもの。共助と連携。地域での助け合い。こういう役割を期待するというものを整理。
- ・ 市民等には「期待する役割」を規定した。
- ・ 前文には、ニーズの多様化・自然災害などへの対応をしていくには、行政の活動はもちろん、地域の支え合いが重要であるということを書いた。市民支援団体・市民活動団体が活発に活動して行政と連携して活動してきた。誇れるもの。

(会長)：条例検討委員会会長、(副会長)：条例検討委員会副会長、(委員)：自分ごと化会議委員、(条例委員)：条例検討委員会委員、(コ)：コーディネーター、(市)：市事務局

- ・ 「テーマに共感した人たちが自由に参加するコミュニティ活動が行われていること」を書いたが、検討委員会で付け加えた単語。組織や団体にこだわらず、テーマに共感した活動を展開している。特に若い方は、「共感」で活動していると感じる。若い人たちは強制されて行うのではなく、自由な活動に参加したい人が多く、その大切さを書いている。そうした人たちを「コミュニティ活動参加者」としていることが、この条例の特徴である。組織に入って組織の方針に基づいてというのは遠慮する人も多いので、そういう方も捉えていきたい。まちづくりの担い手を育てていきたい。
- ・ 用語の定義については、「市民（関係人口を含む）」が特に説明が必要。長岡京市民だけでなく、長岡京市で働いている、学校に行っている、何かの事情で長岡京市に来ている、など。ここでいう市民はこれらを含む広い定義。「共助」が、まちづくりの基盤であることを規定している。
- ・ 地域コミュニティ協議会に期待する役割を規定しているが、自分ごと化会議でも「自治会との違いが分からない」などの意見が多く、分かりやすくするために自治会と合わせて規定を設けることとした。
- ・ 情報の共有については、自分ごと化会議で多くの指摘があった「情報が伝わらない」という課題の解消のために規定した。
- ・ 自分ごと化会議では、無作為抽出の自分ごと化会議を評価いただいた。普通の人たちがまちの課題について議論できる場を規定することとした。さらにその場から、新しいまちづくりの担い手が育つことを期待することとした。
- ・ 「記念日」を設けたいという意見が条例検討委員会で出されたので13番目に規定することとした。その名称はまだ決まっていないが「助け合いとつながりの日」を案としたのは、なるべく分かりやすい言葉としたかったから。

#### 条例骨子案に関する意見交換

(委員) 少子高齢化社会において多くの課題が浮き彫りにされる中、「連携」の重要性がイメージされる。長岡京市は既に積極的な、取り組みをしていることを「誇り」と書いていただいているが、もっと長岡京市の魅力や誇れるところを具体的に書けないか。地域コミュニティの中にテーマ型の活動が生まれることが目標。そのために、地域の中の人を発掘することが課題であり大切。

(委員) 長岡京市は、「たけのこ」が美味しい。給食にもたけのこのスペシャルメニューがあった。適度な自然も長岡京市の魅力。

(委員) 自治会の活性化のために、市民に期待する役割の「話し合い」、「考える」の先に「行動する」を入れてほしい。行動しないと結果が生まれない。「団体に参加する」だけではなく、活動をしなければ。自治会の加入率が減っている。安心安全で住みやすいまちづくりを望む住民に対して、自治会が恒久的な基盤組織となることをめざすべき。

(会長) 前文に「誇れるもの」、「魅力」を入れることについてはできるかもしれないが、

(会長)：条例検討委員会会長、(副会長)：条例検討委員会副会長、(委員)：自分ごと化会議委員、(条例委員)：条例検討委員会委員、(コ)：コーディネーター、(市)：市事務局

条例に個別事項を書くことについては、1つ書くと全部書かなければいけなくなり、この条例にはそれをしなくていいと思う。「行動する」、「活動する」、「自治会に参加する人たちを増やす」という目標を書く」という点についても、この条例は「こうでなければならない」といった条例ではない。期待をするというスタンス。抑制的に書いている。行動できる人、できない人がいる中で、考えることはみんなしてほしいという気持ち。また、各自治会が何をすべきか、それぞれの自治会が決めること。自治会ごとに違いがあってよい。共通することを条例に書いている。

(委員) 自治会が衰退している。自治会加入率をあげたいが、いい案がない。自治会の方で決めたことをすべきというのはおっしゃるとおりだが、自治会運営をする人がほとんどいないので、その少ない人たちが引っ張っていくしかない。ごみステーションの管理など住んでいる以上やらなければならないことがある。そうしたルールを作るべき、書くべきではないか。

(会長) ごみ問題をどうするかは条例ではなく、その先のルールで決めるべきだと思う。

(委員) 自治会非会員は近くのステーションを使わずに、よそのステーションにゴミを運んでいる。住んでいる以上はお互い様で、そういう人たちも近くのステーション管理をするというルールが必要だということ。行政とどうかではない。

(会長) 自治会に加入と条文に入れても、加入率があがるかということ。自治体参加者の減少の問題については「参加させる」ことを目標とするのではなく、「自治体活動を魅力的にする仕組みとその考え方」を条例で示すことだと考える。

(委員) 自治会員だろうと非会員だろうと、住んでいる以上ゴミや環境清掃などのすることがあると思うので、それを後押しするものが欲しいということ。そういうものをみんなで協力できるベースになるもの(考え方)を条例に期待したい。

(委員) 長岡京市に長く住んでいるが、自治会の悩みやコミュニティの悩みを知らない。自治会の役割や地域コミュニティ協議会の活動を知らない人が多いと思う。知らないから入れない人もいると思う。つながりがあって、意見交換ができる。情報がいきわたっていないのか、知らない人が多い。目に留まらない。まずはそこから始めて、つながりができると、自治会の人や行政らと意見交換ができるのでは。

(会長) 条例骨子案に「情報共有」を入れてあるが、行政は伝わっているかどうかしっかり確認すべきであることと、市民等が自ら積極的に情報収集することを期待しているという記述をした。ご指摘の意図はそれで読めると思う。

(委員) 地域コミュニティ協議会の記述について、「地域におけるまちづくりの担い手が情報交換をして、協力・連携するきっかけをつくる」と書いてあるが、「地域におけるまちづくりの担い手を発掘し、組織化し、情報交換しながら協力・連携する」としたらどうか。地域で知っている人が少ないと問題になる可能性がある。その前に知り合う、つながっていく必要がある。自治会の役割は「一人ぼっち」を作らないことだと思う。「もっともっと知り合う機会を作る」ことが必要ではないか。近所の人たちと「知り合う、つながる」という基本があって「助け合う」に繋がっていくのではないか。

(会長) まちづくりの担い手をこの条例では、目的の①に記載してあるが、そうした人たちが地域コミュニティ協議会に参加していないということか。

(委員) そのとおり。

(会長) 記載の仕方を検討する。

自治会に期待する役割の最初の>に「知り合う、つながる」に関する思いを詰め込んであるが、もう少し分かりやすく書くということでもいいか。

(委員) 市民に期待する役割の2番目の>にある「共感できる活動」に自治会活動を結び付けられたら活性化するのでは。既存の活動をしているから衰退している。2, 3人でもテーマでつながることができて、自治会で活動できれば…。

(会長) 魅力ある自治体活動は大切だが、いろんな活動をするのが嫌で自治会に入らない人も多い。バランスが重要で、引き続き意見交換したい。

(委員) 情報共有にアプリは必要。どこで捨てればよいかわからないときがある。自治会にも入れない。活動がほとんどない。ボランティアで道路掃除もする。隣の自治会でやっているハイキング、BBQなどいろんなことに参加したいが、自治会が違うので参加できない。チラシがあるがわかりづらい。近所の方から情報をもってボランティアに参加している。

(副会長) いろいろ自治会長の立場では普段聞かない意見を聞いた。自治会は56あり、それぞれに地域特性がある。閉鎖性が高く、排他的な行為があるという意見も。自分はそんなに閉鎖的だとは思わない。ゴミステーションの清掃が自治会で順番になっているために非会員が出せない、など初めて聞いた。

自治会加入率の低下は、一つは、高齢化によって自治会の役割を担えないために退会する人が多いこと。もう一つは新しい人が興味を持たないこと。PRしても、入るメリットを聞かれる。自治会も提示できない。そのような状況の中、組織率が年々低下している。自治会の将来性に危機感を持っているが、こういう場で普段聞けない意見を聞ける。自治会の未来を考える上で、こうした情報交換がとても大切だと感じた。

(委員) みなさんの意見それぞれ納得できる。義務を定めた条例でないことはいいこと。こうでなくてはいけないと書かれると窮屈。自発的に活動できるのでよいかと。京都市生まれだが、長岡京市はとても住みやすいまちだと思っている。人に対して優しいまち。みんなでやっていこうという気持ちがこの街を作ったのでは。自治会は積極的に参加できていないが、入りますかと聞かれたときは、そんなにやることないですよと言われた方が入りやすい。仕事もあるので、休みの日は休みたいという気持ちがある。ただ、災害などの時につながりがあると良いといわれたほうが入りやすい。

(コ) 他自治体では「ライト会員」という、活動はあまり参加しないが、会費だけ払うシステムもある。

(委員) 私事だが、直近では小学校が150年で給付集め。多くの人に少額でいいので出してくれば、地域の未来につながるのでは。150周年記念事業の中でも培われている

く。子育て忙しい世代はよいが、我々の立場になったときに支えていただければ。それぐらいの気持ちでよいと思う。

(委員) 自治会に期待する役割を条例に規定していただいたが、それにより自治会活動が活発になり、一步前進すると歓迎する。

(委員) 自分も自治会に入っていない。入りたい気持ちがあるが、土地柄、知り合える人が少なくどこにどうやって入っているのか分からない。行政からの広報紙も、マンションのポストの下の段ボールに捨てられているのが現状。会社は京都市内で、近くに住むようにと言われているが、長岡京市を気に入っていて、住み続けている。

長岡京市でいろいろな活動があることを自分ごと化会議に参加してはじめて知った。それぞれが活動して、意見交換したり、市民も興味があれば自由に参加できる活動紹介の場をつくってみてはどうか。各団体で活動・課題・入ったときのメリットなどを発信できるものがあればもっと関心を持ってもらえるのでは。

たけのこは中国から日本にきて長岡京市にはじめて植えられたと聞いたことがある。竹は根がはるので地震につよく、水をためやすいというものもある。高いけれど、竹の文化といえば長岡京市。長岡京宮もあり、社会の教科書に載る場所。謎めいたところも含め長岡京市の魅力を出せれば。

(会長) 記念日の名前は「たけのこの日」にしたらどうか。広く根を張ることはいいこと。

(委員) 前文で自治会加入率の減少とあるが、期待する役割として、参加するというだけではボランティアやサークルをイメージする。自治会に入るといいう言い方は難しいが、入るのが望ましい、努めるなど書ければ。自治会に触れてほしい。

(委員) たけのこも長岡京市の魅力。高いのは人件費がかかっている。1年中、世話で竹やぶの中にいる。テレビでたけのこが紹介された翌日は20人ほど並んだ。マスコミの力は大きいと感じる。長岡京市は歴史をもっとアピールして良いと思う。近所のお寺、天台宗長法寺にも釈迦金冠出現図という国宝がある。京都国立博物館で天台宗の最澄国宝展をやっているが、長法寺にもともとあった国宝。信長の焼き討ちにあい、国宝が散らばり、長法寺にも。

また、全体を通じて、子供を大事にする必要がある。危ない通学路などがある。まちづくり条例の中に、子供の視線に立って、子供を守る、育てる言葉を入れてあげることが、将来発展するために大切。

(会長) 前文の最後に「子どもから…」という記述を検討委員会の中の議論で入れてある。まちづくりの中身として「子ども」のことをどう書くか、頭を捻りたい。基本は、まちづくりの中身は書かない。まちづくりをする上での連携の仕組みを書いている。条文にどう反映させるか検討したい。

(条例委員) 条例に関して、～してほしい、～しなければいけない、を除いた理念条例となっている。こういう長岡京市になってほしいなという表現しかできない。誇れる具体例はもうひとひねりしてもよいかと思った。まちづくりに関する具体策は、埋もれさせず、他の場面で生かせれば。

(条例委員) 言葉でまとまって、現実を反映できていないのは嫌だと感じている。何かの

形で参加していきたいという気持ちがあることを知ることができて安堵した。地域の支え合いで住みやすい長岡京をつくるのが目的。それぞれの団体で目的があると思うが、大きな目的は何か、柔軟性をもって、いろんな団体が縦割りではなく協力していくことを推奨できる条例になれば。

(5) 自分ごと化会議提案書のご意見に関する実施事業等について

(市) 自分ごと化会議提案書のご意見に関する実施事業等について説明。

- ・ 自分ごと化会議の提案書について、市が既に行っている、頑張っていることが伝えられていないので、このメンバーにはぜひ伝えたいという気持ちでこの資料を作った。
- ・ 担当課に照会をかけたが、専門用語があったりして分かりづらい部分がある。
- ・ 今日のご意見を踏まえ、7月の自分ごと化会議に修正版を提出したい。
- ・ 分かりづらい点や追加してほしい点があれば、ご意見をいただきたい。

(6) 自分ごと化会議提案書のご意見に関する実施事業等に関する意見交換

(コ) 1班では5つの課題に分け、その改善策を提案したが、そのうち行政の部分に関するものか。

(市) 行政の実施事業についての資料であり、今の市の事業について書いてある。その意味で今後、大きな追加があることは考えにくい。

(委員) 現状の延長線上で問題解決しようとしている印象がある。若い人の意識と現状の乖離があるのではないか。自治会や地域コミュニティ協議会よりNPO法人のほうが時代にマッチしているのではないか。そういう新しい視点を入れるべきではないか。

(市) 自治会会長会、それぞれの自治会長はとても頑張っているが、そういう人たちと一般市民の意識に乖離があると認識している。一般市民の思いをどう自治会につなげられるか。NPOがあればつなげられるか。テーマ活動のような見せ方とかもあるかもしれない。市はどう支援できるか。一連の条例検討をして考えた。

(委員) 環境保全で一番分かりやすいのはごみ問題。今、まちなかに散乱ごみは見当たらない。少し前まで前日出しが多かったが、今はほとんどない。課題をなくそうというより、どう生かしてみんなが共有できるかを積極的に投げかける方がよいのでは。

(市) 子育てをテーマに活動する人から話を聞いたが、「市から課題解決してくれと言われると現状がマイナスで、マイナスからのスタートなのかと違和感がある。自分たちは、ゼロからプラスにしようとしている。もっとポジティブにPRできないか」と言っていた。課題にどうするか、というより、よりよい街にするにはどうするか。

(委員) 近所で毎朝ごみステーションに指定ゴミ袋ではないゴミ袋で投げ捨てていく人がいる。それを町内の人が掃除。犯人を特定して取り締まる必要があるのではない

(会長)：条例検討委員会会長、(副会長)：条例検討委員会副会長、(委員)：自分ごと化会議委員、(条例委員)：条例検討委員会委員、(コ)：コーディネーター、(市)：市事務局

か。あまりにもひどい場合は行政が入って指導など。

通学路でもあり、子どもの気持ちを考えると。信号無視する大人も多い。高齢者が多い。子どもたちは手を挙げてわたっているのに、反対では大人が赤信号を無視している。行政も関わっていければ。

(コ)地域・個人ではカバーできない部分を行政が関われば。市民同士で情報交換をして。行政はもちろんかかわるが、全てを把握するのは難しいので、そういった機会を設けられれば。

(副会長) 自分の自治会のごみステーションでも不法投棄が見られる。大通りにあるためか、ゴミの出し方がすさまじい。大型ごみが不法投棄されている。夜8~9時以降に不法投棄されているようである。次の日の朝には山のように積まれている。市環境業務課とほぼ毎月ゴミの打ち合わせをしている。直接来てもらったこともある。何か手を打ってと議論したが、現状の体制では改良できない。全て環境業務が回収している。明らかに不法であるとゴミを出した人に知ってもらうため、レッドカードを貼り、1週間置いたままにして、翌週に引いてくれている。不法投棄をしている人はそれを見ても回収することはないが・・・。地域の人にとってはいつまでもおかれては迷惑。悪いことをする人はどこにでもいる。ステーション横に大きい道路があるので、車から直接放り込んでいることもあり、警察とも協議した。現行取り締まれない。防犯カメラもあるが通学の安全確保なので用途が違う。行政は手厚くフォローアップしてくれている。

(コ) 提案書にはマナー違反についての記載がされているが、この資料の中には記載されていないということか。

(市) 伝えると伝わるの話。市の担当課は当たり前に行っているために、この課題のためにこれをやっている、と市職員が繋がっていないところもある。この課題に対して何かしているか?と言われたとき、やっていることを全て挙げられていない、伝えられてない部分はあると思う。ご指摘があればいただきたい。次回の修正の参考にする。

(市) 市担当課と個別相談されているので知っていると思うが、業者が夜中に車で持ってきていると分析する。対策として、行政のすべき部分は行政でしているが、地域での防衛策として、早朝に一番先に出す人ごみステーションを組み立てているところもある。たとえば八条が丘自治会は、朝に設置している。住民の手間は増えるが、不法投棄が大幅に減った。負担は増えるが環境を守った事例。行政ができる部分もフォローしたい。

(委員) 19頁にある公民館など地域拠点のWi-Fi整備の記述の意味は?

(市) 災害時用に避難時Wi-Fiの準備がある。臨時的Wi-Fiルーターを持っていくというイメージ。

(委員) 常時使えるWi-Fi環境がないということか。

(市) 現状ないが、要望が多いことは把握している。

(委員) 図書館等、勉強したいが、Wi-Fiがない。もしできればほしい。外国人として不

- 便。台湾の図書館は使える。台湾はみんなが利用できる場所はある
- (市) 長岡京市は公共施設に Wi-Fi 環境がない。自分ごと化会議でも、特に若い方から要望が多かった。個人的に海外旅行で施設の Wi-Fi に助けられたこともある。
- (委員) 自分ごと化会議で出席した提案書に対する意見に拘る必要はあるか。言いつばなしでよかったと思う。いろんな貴重な意見を出してもらったので、まちづくり課題として挙げていければ。提案という形でまとめた方が自分ごと化会議らしいと思う。
- (市) これを作ろうと思ったのは、市もがんばっていることがあるけれど、伝わっていない部分もあり、みなさんにお伝えしたいという思いから。見せ方もあると思う。市の思いの共有ができれば、市民のみなさんも相談などしやすいかと思った。
- (コ) 市も頑張っていることを伝えるのは、自分ごと化会議に伝えることだけが目的ではないと思っていて、そういう検討をいただきたい。
- (会長) 行政担当が説明してくれたが、条例の 11 情報共有 3 番目について、「私は担当ではないが」という前置きがある。仕方ない部分はあるが、少し残念。担当でなくても、話している以上は市の代表と思って話していただければ。わからない部分は担当に確認しますでよいと思う。伝え方、スタンスについて、頭の片隅にとどめていただければ。
- (コ) 市民自身も、人を知ると相談しやすくなる。関わる機会が少ないので、こういう場は重要と感じている。

#### 次回の分科会に向けた準備

##### 次回の分科会の目標

- 条例素案(案)のブラッシュアップ

(会長)：条例検討委員会会長、(副会長)：条例検討委員会副会長、(委員)：自分ごと化会議委員、(条例委員)：条例検討委員会委員、(コ)：コーディネーター、(市)：市事務局